

編集後記

大学史資料課では、これまでも不定期ではあるが、戦争を体験した専修大学関係者に対する聞き取り調査を継続して行っていた。しかし今年度からは科学研究費助成事業の採択を得られたこともあり、本格的な調査を開始した。本号ではその活動記録とともに、戦時中に台湾から来日した卒業生のインタビューも掲載した。

今年は終戦70年という節目の年にあたる。戦争を体験した卒業生からできうる限りお話を伺い、その声を後世に残したいと考えている。

大学史資料課には戦前・戦後を問わず卒業生に関する資料があまり残っていない。一人でも多くの卒業生に関する資料や情報を積極的に収集していくためにも、校友の方々にご協力をお願いする次第である。

(大学史資料課)